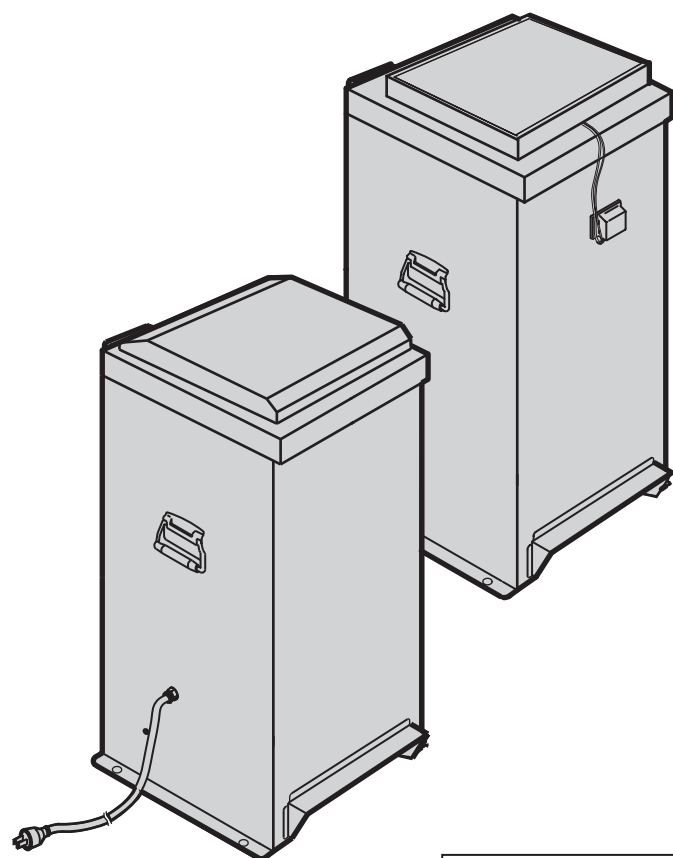
**DAINICHI**

# 自動給餌機

# CR-601
（ソーラー発電タイプ）

# CR-611
（AC100 V電源タイプ）

保証書別添付

# 取扱説明書

## 目次



**お買い上げいただき、まことにありがとうございます。**
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

# 安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています

**誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

**本文中のマークは、次の意味を表しています。**

| | |
|---|---|
|  | このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。 |
| | このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。 |
| | このマークは、「注意」を促す内容を表しています。 |

## ⚠ 警告(WARNING)

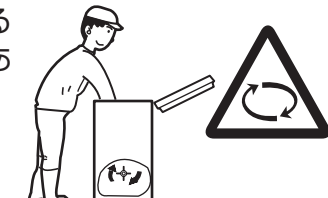
### 雷雨時接近禁止

機器に落雷のおそれがあります。
雷雨時は餌の補給、メンテナンスなどで、機器に近づかないでください。

### 餌散布円盤に注意

運転中、餌散布円盤は高速で回転し、餌を散布しています。手足を近づけると巻き込まれたり、挟まれけがをするおそれがあります。
また、餌吹出口に顔を近づけると目に餌があたったりしてけがをするおそれがあります。給餌機使用中は、絶対に手足や顔を近づけないでください。

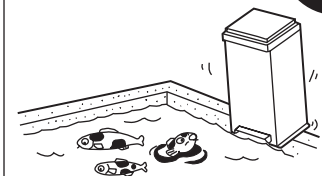
### 餌排出羽根に注意

運転中、餌排出羽根は回っています。絶対に指を入れないでください。
けがをするおそれがあります。

## ⚠ 注意(CAUTION)

**設置のとき**

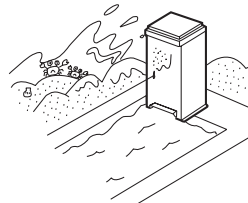
**CR-601・CR-611**

### 設置確認

機器が確実に固定されているか確認してください。
不安定な場所に設置すると機器が転倒し、予想しない事故が発生するおそれがあります。

### 取っ手を持って移動

機器を移動するときは取っ手を持って移動してください。
餌タンクふたハンドルなどを持つと、機器の破損ばかりでなく、予想しない事故の原因になります。

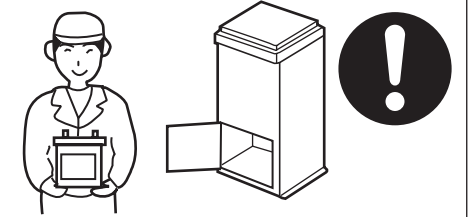
### 設置場所に注意

塩害の著しい場所、高温・多湿な場所では使用しないでください。
機器の損傷ばかりでなく、予想しない事故の原因になります。

## ⚠ 注意(CAUTION)

**設置のとき**

**CR-601**

### バッテリーの取扱いに注意

機器を移動するときは、機器からバッテリーを取り外し、移動してください。また、バッテリーの「＋」「－」端子をショートさせないよう注意してください。
バッテリー内の化学薬品が漏れたり、予想しない事故が発生するおそれがあります。

**CR-611**

### アース線を接続すること

付属のアース棒にて、アースを確実に行なってください。
アースが不完全なときは感電の原因になることがあります。

### 漏電ブレーカーを使用すること

電源プラグは漏電ブレーカーに接続されているコンセントを使用してください。
感電や予想しない事故の原因になります。

**ご使用のとき**

**CR-601・CR-611**

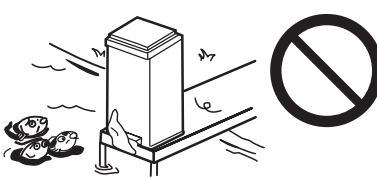
### 指を挟まないよう注意

餌タンクふたを閉めるときはゆっくり閉め指を挟まないよう注意してください。
けがをするおそれがあります。

### 異常・故障時使用禁止

異常や故障と思われるときは使用しないでください。
予想しない事故の原因になります。

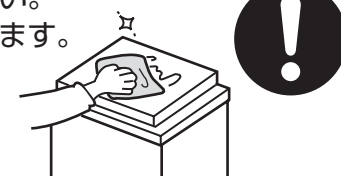
### 餌吹出口閉そく禁止

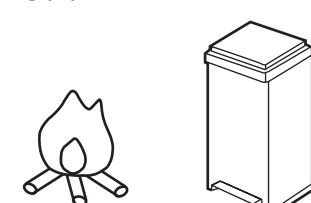
餌吹出口がつまっていたり、ふさがれていないことを確認してください。
閉そくしていると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因になります。

### 餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給しない

餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給すると、先に入れておいた餌が残るときがあります。
長期間残った餌は変質のおそれがあります。

**CR-601**

### ソーラーパネルの取扱いに注意

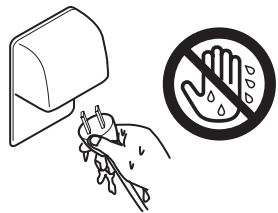
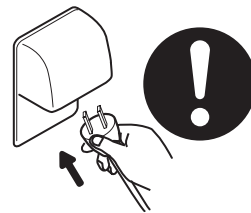
ソーラーパネルのほこり・ごみをふき取ってください。性能を発揮できなくなるおそれがあります。また、ソーラーパネルの上に物を置かないでください。
破損の原因になります。

### 火気厳禁

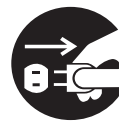
機器の近くで火気を使用しないでください。
バッテリーから発生する水素ガスに引火し、火災の原因になります。

# 安全のために必ずお守りください

## ⚠注意(CAUTION)

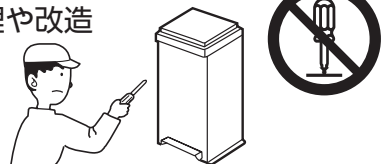
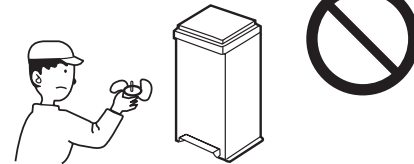
### ご使用のとき

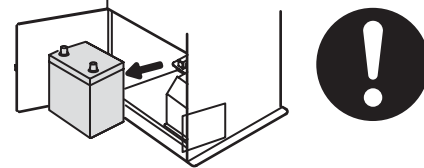
**CR-611**

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電やけがの原因になります。

**電源プラグは確実に差し込む**
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

**電源コードを傷めない**
電源コードに無理な力を加えたり、重いものをのせたり、加工したり、束ねたまま使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

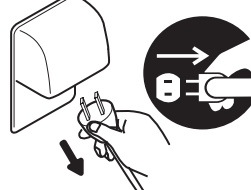
**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**
火災・感電の原因になります。

### 点検・その他

**CR-601・CR-611**

**分解修理・改造の禁止**
故障・破損したら、使用しないでください。
お客様自身による修理や改造・分解はしないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

**指定部品以外使用禁止**
指定以外の部品を使用しないでください。
性能を発揮できなくなるばかりでなく、予想しない事故の原因になります。

**CR-601**

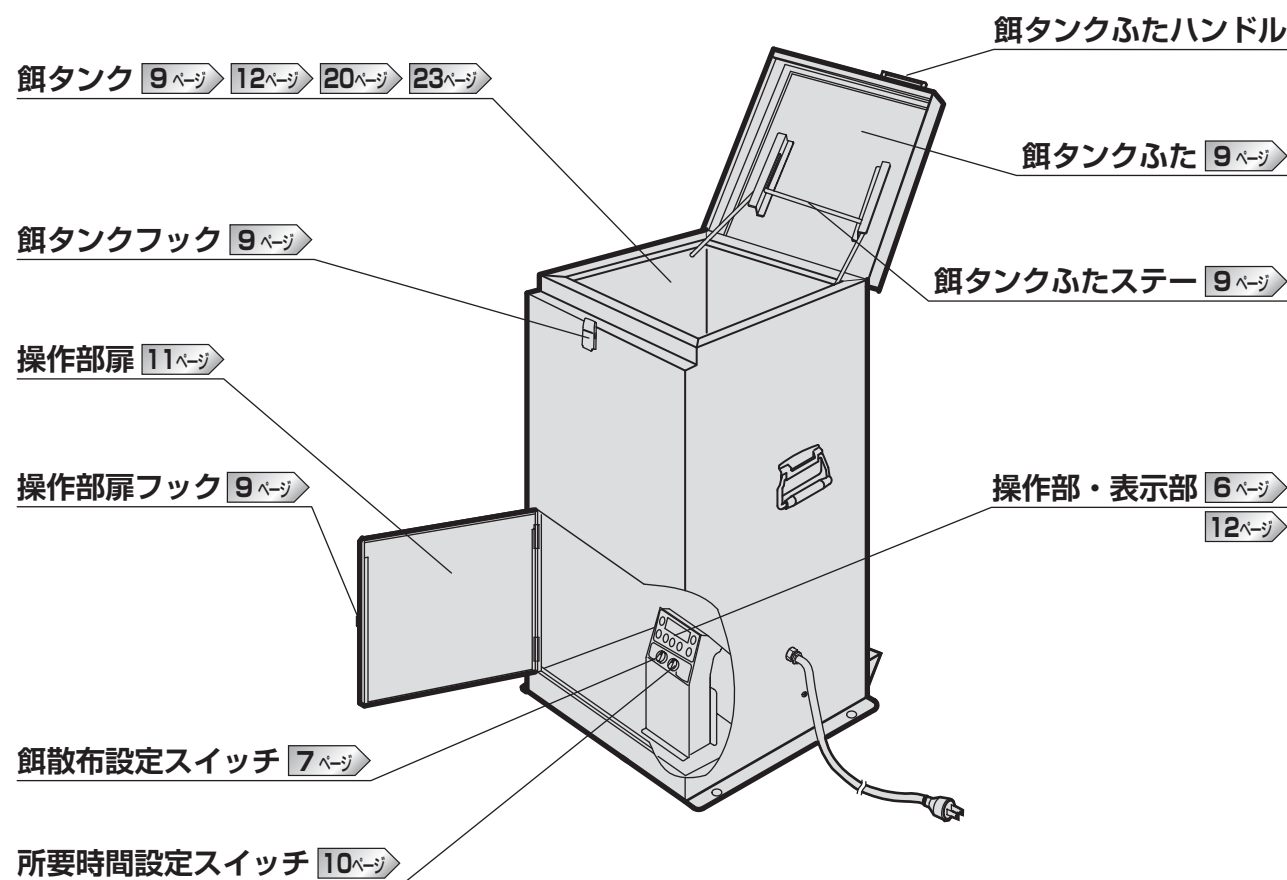
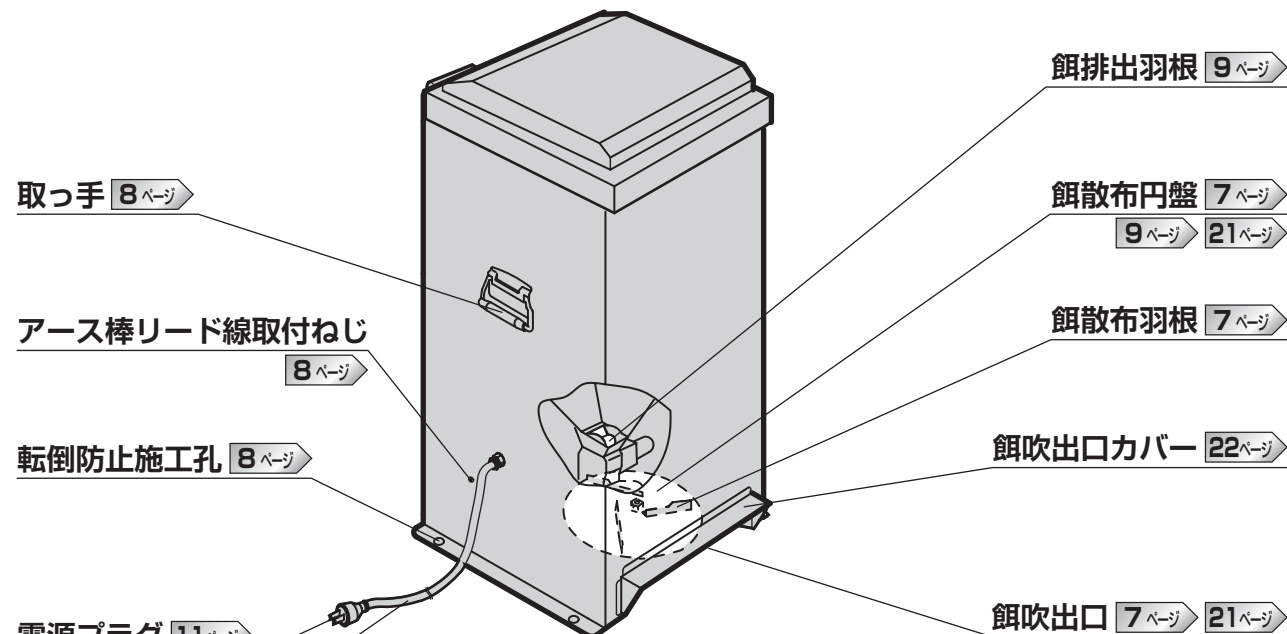
**長期間使用しないときや、保管・移動するときは、バッテリーを取り外す**
長期間使用しないときや、保管するとき、機器を移動するときは、必ず餌タンクから餌をすべて取り除き、バッテリーを取り外してください。
火災や予想しない事故の原因になります。

**CR-611**

**電源プラグのお手入れをする**
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

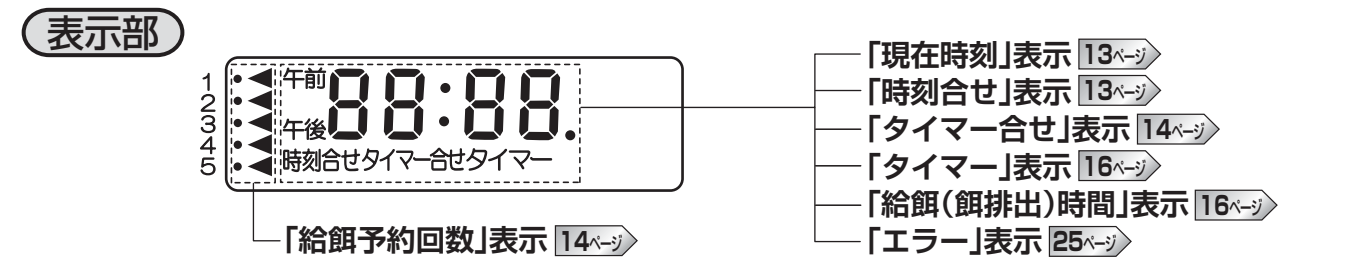
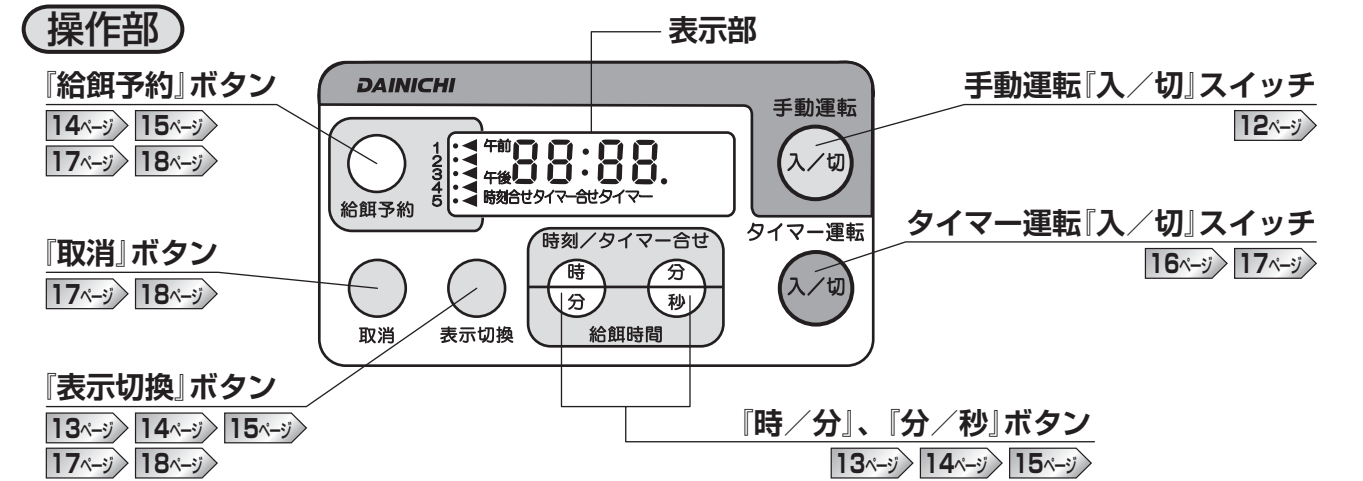
**長期間使用しないときや、保管・移動するときは、電源プラグを抜く**
長期間使用しないときや、保管するとき、機器を移動するときは、必ず餌タンクから餌をすべて取り除き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

# 各部のなまえ

## CR-601外観図

# 各部のなまえ

## CR-611外観図

## 操作部・表示部

### 操作部

### 表示部

※表示部は説明のため、すべて表示した状態です。使用中に、すべて表示することはありません。

### 表示部の説明

**【運転停止中】**

表示部は、『表示切換』ボタンを１回押すごとに、①～④の順に切り換わります。

① 「現在時刻」表示

午前 12:00

※現在時刻を合わせていないときは - - - - になります。

② 「時刻合せ」表示

午前 12:00 時刻合せ

③ 「タイマー合せ」表示
●給餌予約１のとき

午前 6:30 タイマー合せ

④ 「給餌（餌排出）時間」表示
●給餌予約１のとき

0 1 30.

**【手動運転中】**

「給餌（餌排出）時間」表示

手動運転開始からの運転時間が表示されます。
イラストは、１分28秒経過時の表示です。

0 1 28.

**【タイマー待機中・タイマー運転中】**

「タイマー」表示

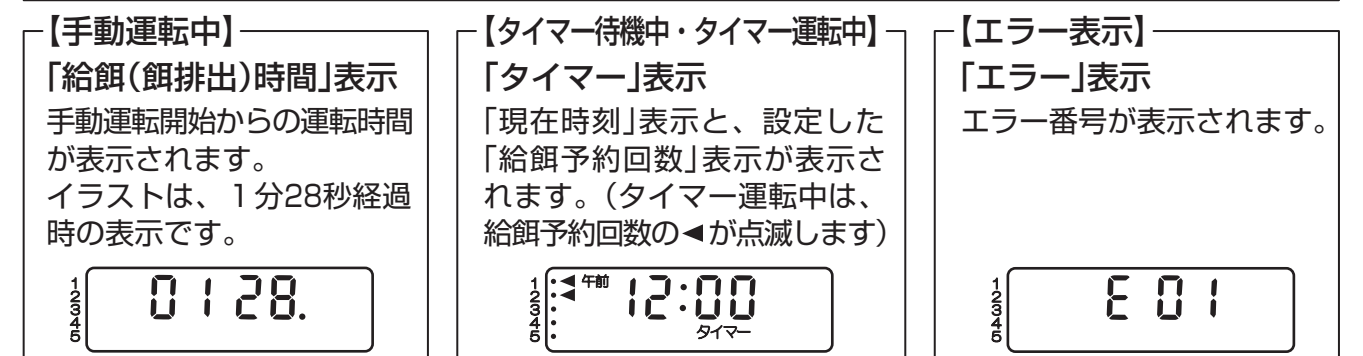
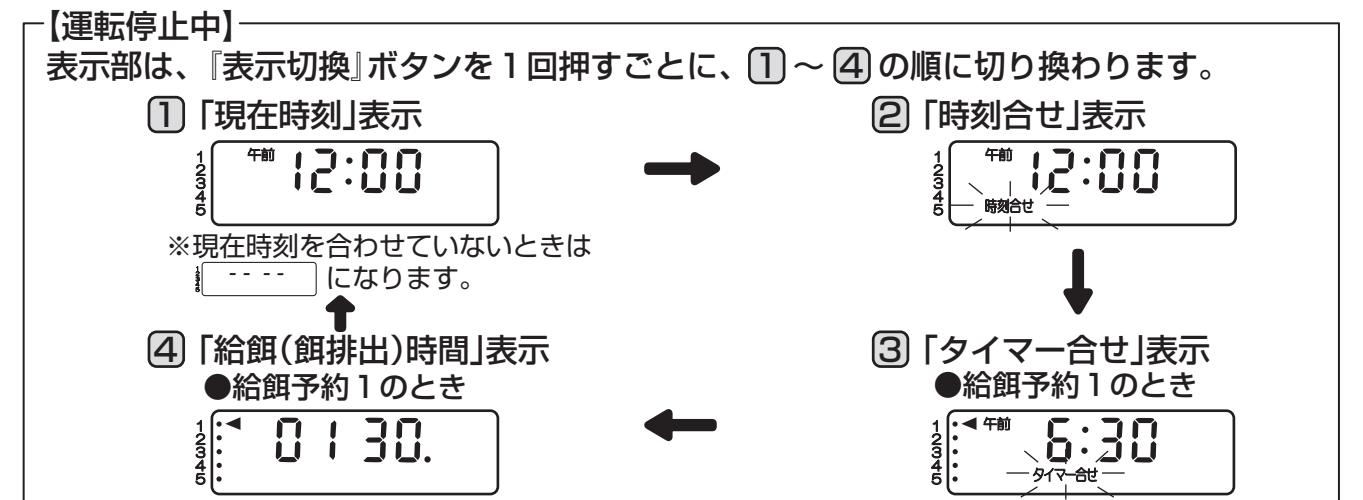
「現在時刻」表示と、設定した「給餌予約回数」表示が表示されます。（タイマー運転中は、給餌予約回数の◀が点滅します）

午前 12:00 タイマー

**【エラー表示】**

「エラー」表示

エラー番号が表示されます。

E 01

# 使用前の準備

## 1 餌散布範囲を決める

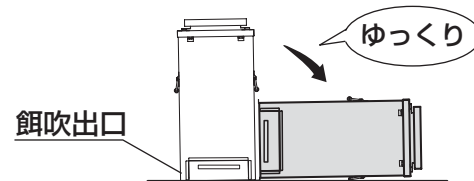
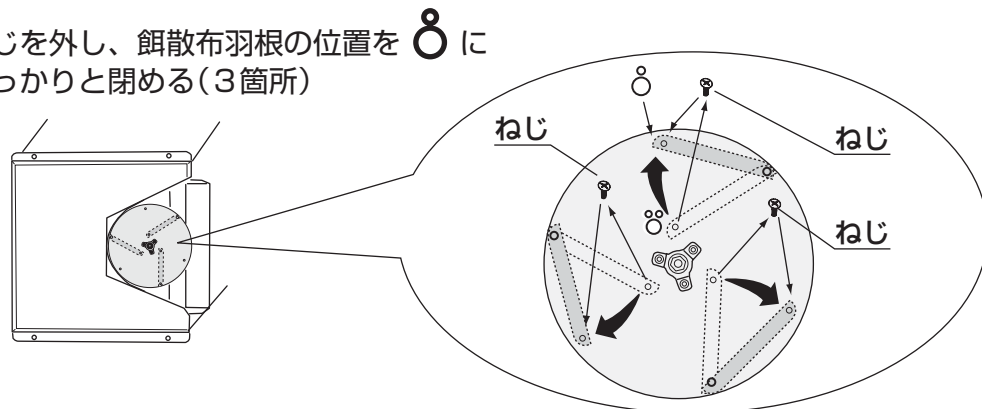
○餌散布範囲は『餌散布設定』スイッチにより、次の４つに設定できます。
但し、近距離で使用するときは設置前に餌散布羽根の位置を変更する必要があります。
（工場出荷時は中距離〜広範囲に対応した位置に設定されています）
餌散布羽根の羽根位置変更のしかたに従い、設定してください。
なお、試運転後に餌散布範囲を決定するときは、仮設置を行なってから試運転を行なってください。

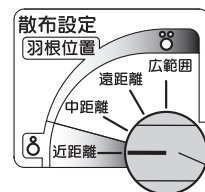
### ＜餌散布範囲のイメージ＞

| イメージ | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 餌散布範囲 | 近距離 | 中距離 | 遠距離 | 広範囲 |
| 羽根位置 | 8 | 88 | | |

※図の散布範囲はあくまでもイメージです。餌のメーカー・形状・池からの機器の高さなどにより散布距離・範囲が異なります。試運転にて実際に餌を散布し、確認してください。

### 餌散布羽根の羽根位置変更のしかた（近距離に設定するとき）

①バッテリーを取り外し、または電源プラグをコンセントから抜き、餌吹出口に向かい、機器を右側に倒す

②餌散布羽根取付ねじを外し、餌散布羽根の位置を 8 に変更し、ねじをしっかりと閉める（３箇所）

③機器を立てる

④『餌散布設定』スイッチを近距離に合わせる



**お守りください**

○作業の前にバッテリーを取り外す、または電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがや予想しない事故の原因になります。
○餌散布羽根は３箇所すべて変更してください。
変更しないと、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因になります。



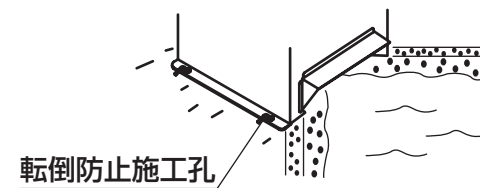


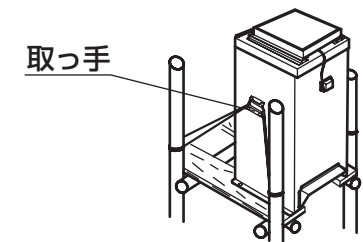
## 2 機器を設置する

○機器は水平で安定した場所に設置し、転倒防止処置を確実に行なってください。
○CR-611は、同梱のアース棒を必ず機器に取り付け、処置を行なってください。

### 転倒防止処置のしかた

○機器は２通りの方法で転倒防止処置が行えます。
設置状況、場所により適切な処置を行なってください。

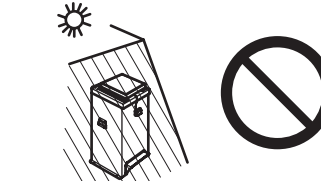
①転倒防止施工孔を利用した、ペグ、アンカーボルト（８mm）による固定



②取っ手を利用した、ワイヤーなどによる固定

※餌散布円盤の真下の部分は板などがこないよう設置してください。
餌散布円盤の真下に板などがあると、使用しているうちに餌が積もり、餌散布円盤が回らなくなることがあります。

**お守りください**

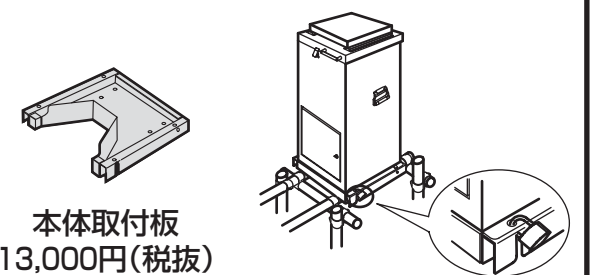
次の場所には、設置しないでください。

○不安定な場所、転倒防止処置を行えない場所

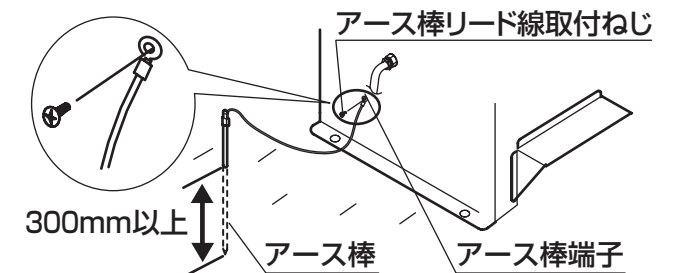
○直射日光のあたりにくい場所（CR-601のみ）
（遮光ネットの下など）

**メモ**

○別売の本体取付板を用意しています。
本体取付板を使用すると、盗難防止のための施錠が可能となります。
本体取付板の使用をご希望されるときは、お買い上げの販売店にお申し込みください。

【本体取付板施工例】

本体取付板
13,000円（税抜）

### アース棒リード線の取り付け・処置のしかた（CR-611のみ）

①機器のアース棒リード線取付ねじ１本を外し、アース棒端子を取り付ける

②近くの地面などに、アース棒を300mm以上打ち込む

**お守りください**

○アース棒は確実に地面に打ち込んでください。
確実に処置を行わないと感電の原因になることがあります。
○アース棒はコンクリートやセメントなどに無理に打ち込まないでください。
破損するおそれがあります。機器の近くにアース棒が打ち込めないときは、弊社お客様ご相談窓口にご相談ください。裏表紙

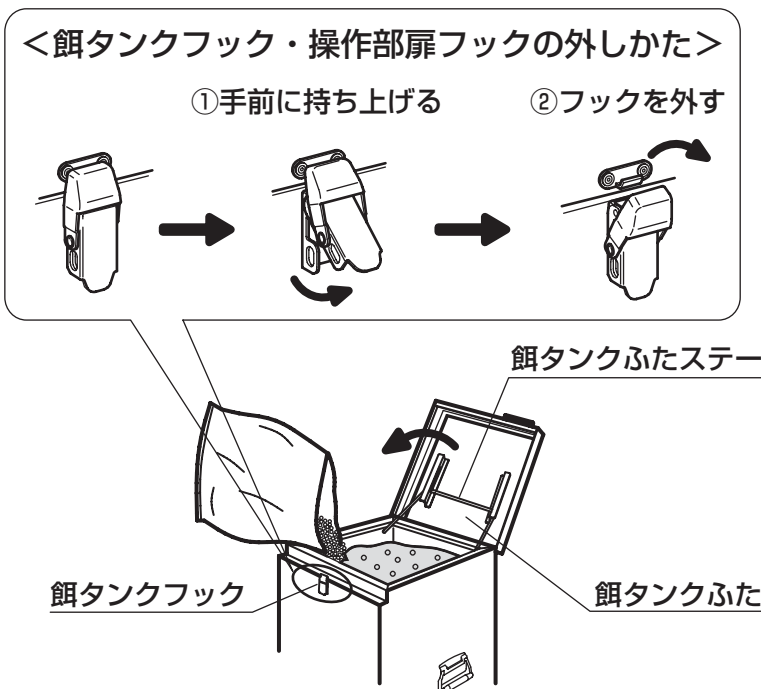
## 3 餌を入れる

①餌タンクフックを外し、餌タンクふたを開ける

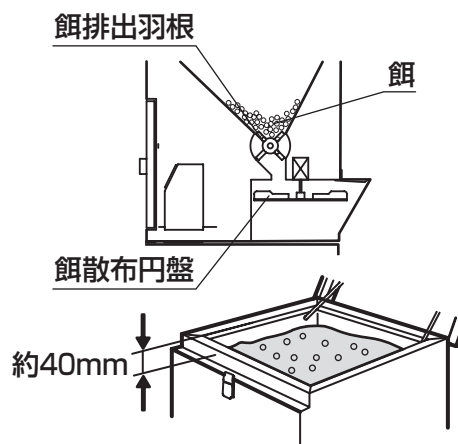
②餌タンクに餌を入れる
※餌タンク内に多量の餌が残っているときは、餌補給を行わないでください。
※餌タンク底部に残っている餌は定期的に取り除いてください。

変質のおそれがあります

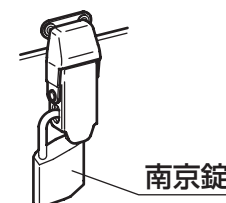
③餌タンクふたステーを手前に引き、ゆっくりと餌タンクふたを閉める

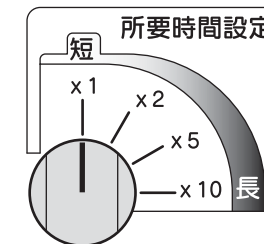
④餌タンクフックを確実に閉める

### お守りください

- 餌タンクに餌を入れるときは餌排出羽根が見えるくらいの餌残量で行なってください。また、餌タンク底部に排出しきれずに残った餌を定期的に取り除いてください。
餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給されると、先に入れた餌が残るときがあり、変質のおそれがあります。
- 餌タンクに餌を入れるときは、餌の入れすぎに注意し、餌タンク上端から、約40mm程度の隙間を開けてください。
餌を入れすぎると故障の原因になります。
- 餌タンクに餌を入れるときは、紙袋の切れ端や糸などが餌タンク内に落ちないよう注意してください。
餌散布円盤や餌排出羽根に絡みつき、故障の原因になります。
- 餌は乾燥粒状餌(粒径1.3～9mm)のみ使用してください。
乾燥粒状餌以外は、故障の原因になります。
- 餌タンクフックは確実に閉めてください。
餌タンクフックを閉めないと、風により餌タンクふたが破損したり、機器内に水が入り、餌つまりの原因になります。
- 雨が降っているときや、餌タンクふたの上に水が溜まっているときは、水の浸入に注意してください。機器内に水が入り、餌つまりの原因になります。

餌排出羽根
餌
餌散布円盤
約40mm

### メモ

- 餌タンクフックや操作部扉フックは、いたずら防止などのために、南京錠が使用できます。
南京錠はホームセンターなどで購入してください。

【南京錠使用例】

## 4 給餌所要時間を設定する

- 池の大きさや飼育量に合わせ、給餌の所要時間を次の４つより選択できます。
餌の種類など使用状況に合わせ、下表の１分間あたりの給餌量を目安に『所要時間設定』スイッチで設定してください。

<所要時間設定による給餌運転の概要>
×１：連続運転
×２：間欠的に餌を３回に分けて散布(散布回数３回)
×５：間欠的に餌を６回に分けて散布(散布回数６回)
×10：間欠的に餌を11回に分けて散布(散布回数11回)

【例】「給餌(餌排出)時間を５分」に設定したときは、次のような給餌が行われます。15ページ
(沈み餌(５mm)：870g/分×5分＝4,350gのとき)

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50(分)
×１ 動作 ５分で4,350gを１回で散布
×２ 動作 停止 動作 停止 動作 10分かけて4,350gを３回で散布
×５ 動作 停止 動作 停止 動作 停止 動作 停止 動作 停止 動作 25分かけて4,350gを６回で散布
×10 停止 停止 停止 停止 停止 50分かけて4,350gを11回で散布

※動作と停止の間隔は設定された給餌(餌排出)時間により異なります。

【例】所要時間設定による動作時間

| 給餌(餌排出)時間 | 所要時間設定 / 時間 | ×１ | ×２ | ×５ | ×10 |
|---|---|---|---|---|---|
| １分(60秒) | １回の動作時間 | 60秒(1分) | 20秒 | 10秒 | 5.4秒 |
| | １回の停止時間 | 0秒 | 30秒 | 48秒 | 54秒 |
| | 全体の所要時間 | 60秒(1分) | 120秒(2分) | 300秒(5分) | 600秒(10分) |
| ５分(300秒) | １回の動作時間 | 300秒(5分) | 100秒 | 50秒 | 27.3秒 |
| | １回の停止時間 | 0秒 | 150秒 | 240秒 | 270秒 |
| | 全体の所要時間 | 300秒(5分) | 600秒(10分) | 1500秒(25分) | 3000秒(50分) |

※１回あたりの動作時間、停止時間の計算のしかた(所要時間設定が×２、×５、×10のとき)

$$動作時間 = \frac{給餌(餌排出)時間}{散布回数} \qquad 停止時間 = \frac{給餌(餌排出)時間\times(散布回数-2)}{散布回数-1}$$

### 【餌の種類と１分あたりの給餌量】

給餌量は、あくまでも目安です。餌のメーカー、形状などにより給餌量が異なりますので、手動運転にて給餌量を確認し、設定してください。

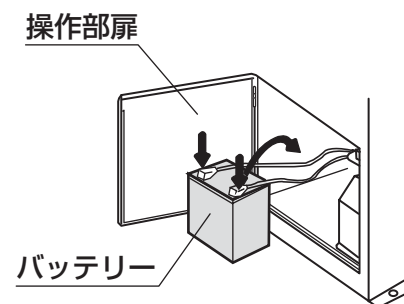
| 餌の種類(粒径) | １分あたりの給餌量 |
|---|---|
| 浮き餌(M玉：6.0 mm) | 450ｇ/分 |
| 浮き餌(Ｌ玉：9.0 mm) | 400ｇ/分 |
| 沈み餌(　1.3 mm　) | 900ｇ/分 |
| 沈み餌(　5.0 mm　) | 870ｇ/分 |

# 使用前の準備

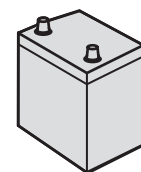
## 5 電源を接続する

### <CR-601 使用のとき>

### バッテリーを接続する

①操作部扉フックを外し、操作部扉を開ける 9ページ
②＋(プラス：赤色)電極を接続し、ナットを確実に閉める
③－(マイナス：黒色)電極を接続し、ナットを確実に閉める
④電極のカバーをかぶせ、バッテリーを機器にセットする
（バッテリーは図の向きで入れてください）

**メモ**

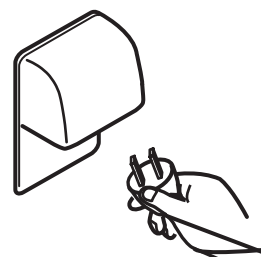
○バッテリーは指定のものをホームセンターなどでお買い求めいただくか、お買い上げの販売店にお申し込みください。

【指定バッテリー】
・38B19L　・38B19R
・40B19L　・40B19R

バッテリー
7,000円(税抜)

**お守りください**

○電極のナットは確実に閉めてください。
確実に閉めないと、充電不良の原因になります。
○バッテリーは指定のものをご使用ください。
指定以外のバッテリーを使用すると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因になります。
○バッテリーの「＋」「－」端子をショートさせないよう注意してください。
○古くなったバッテリーは使用しないでください。
○シーズン初めなど、機器を長期間使用していなかったときは、バッテリーを充電してから、使用してください。

### <CR-611 使用のとき>

### 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む

**お守りください**

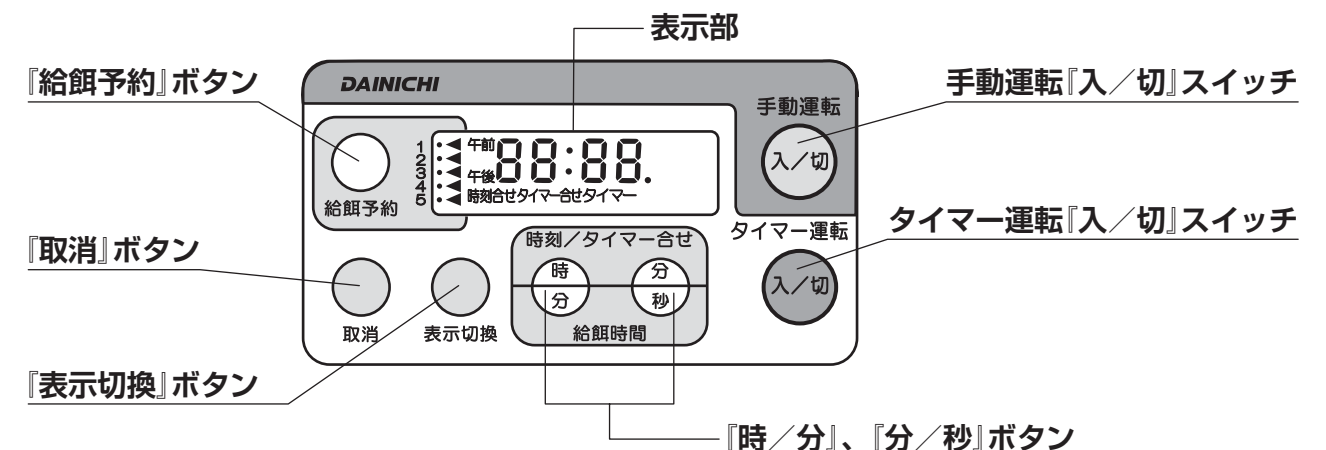
○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。
○電源プラグは漏電ブレーカーに接続されているコンセントを使用してください。
感電や予想しない事故の原因になります。

## 6 試運転する

使用方法「手動運転の使いかた」に従い、餌が正常に吹き出すことを確認してください。12ページ





# 使用方法

運転方法には次の2通りがあります。使いかたにあわせご使用ください。
●手動運転・・・・１回に給餌する量の餌を、どのくらいの時間で給餌するかを決めるときにお使いください。
●タイマー運転・・毎日、同じ時刻に同じ時間、給餌したいときにお使いください。

## 手動運転の使いかた

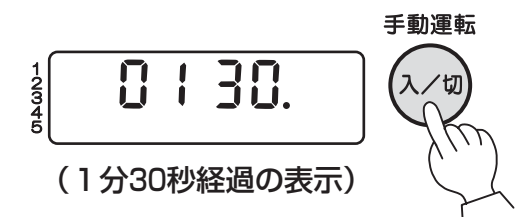
### 1 餌タンクを空にする

### 2 １回に給餌する量の餌を、餌タンクに入れる

### 3 手動運転『入／切』スイッチを押す〈運転開始〉

※所要時間設定スイッチに関わらず、常に連続運転(×１)の動作をします。

○餌が確実に吹き出すことを確認してください。
○表示部に運転開始からの時間が表示されます。
手動運転は最長30分で自動的に停止します。
○餌タンクの餌が空になったときの操作パネルの表示部の時間が、１回の給餌にかかる時間です。

（１分30秒経過の表示）

### 4 手動運転『入／切』スイッチを押す〈運転停止〉

**メモ**

○タイマー運転中は、手動運転は行えません。
タイマー運転『入／切』スイッチを押し、タイマー運転を停止してから手動運転を行なってください。

# 使用方法

## タイマー運転の使いかた

●タイマー運転を使用するときは、現在時刻・予約時刻・給餌(餌排出)時間を合わせてください。１度合わせると、毎日同じ時刻に同じ時間、自動給餌されます。タイマー運転は１日５回まで予約ができます。

※運転停止状態で約２分間、バッテリーを外したり、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電しても、設定内容はすべて保持されます。約２分以上のときは、設定内容はすべて消えてしまいますので、再度、設定が必要となります。

**お守りください**

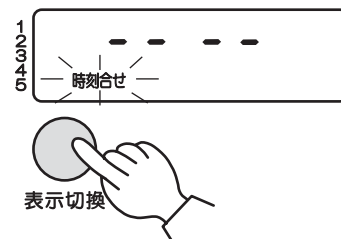
○CR-601は１日の給餌(餌排出)時間の合計が40分未満になるよう設定してください。
電力の消費がソーラーパネルからの電気供給を超えることがあり、バッテリー上がりの原因になります。また、40分未満でもソーラーパネルへの日射量、天候、日照時間などにより、バッテリーが上がることがあります。そのときは、市販の充電器などでバッテリーの充電を行なってください。



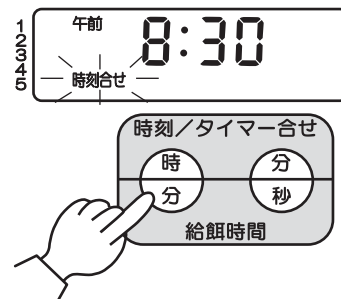
## 現在時刻の合わせかた

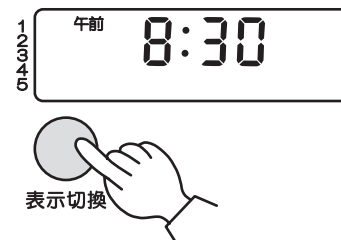
【例】現在時刻を午前８時30分に合わせるとき

**1**『表示切換』ボタンを１回押し、「時刻合せ」表示にする

○「時刻合せ」表示が点滅します。

**2**『時／分』、『分／秒』ボタンを押し、現在時刻を合わせる

①『時／分』ボタンを午前８時になるまで押す
②『分／秒』ボタンを30分になるまで押す

ボタンを押し続けると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。

**3**『表示切換』ボタンを3回押し、「現在時刻」表示にする 6ページ

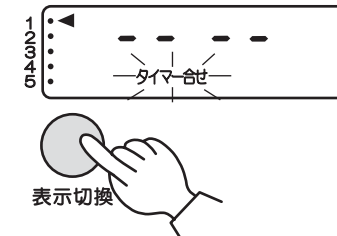
○「時刻合せ」表示が消え、「現在時刻」が表示されます。

## 給餌予約の合わせかた

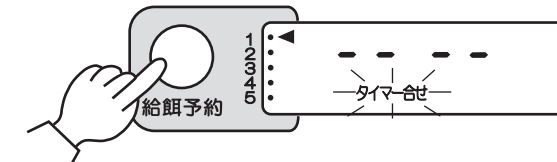
### 予約時刻の合わせかた

【例】給餌予約１・・・予約時刻を午前６時30分に合わせるとき
給餌予約２・・・予約時刻を午前10時20分に合わせるとき

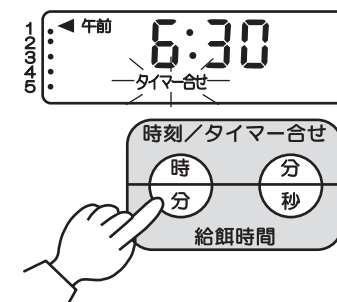
【給餌予約１】

**1**『表示切換』ボタンを2回押し、「タイマー合せ」表示にする

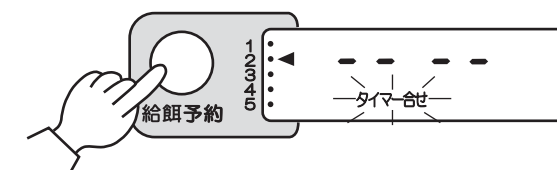
○「タイマー合せ」表示が点滅します。

**2**「給餌予約回数」表示(◀)が１であることを確認する

○１でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、１に合わせてください。

**3**『時／分』、『分／秒』ボタンを押し、予約時刻を合わせる

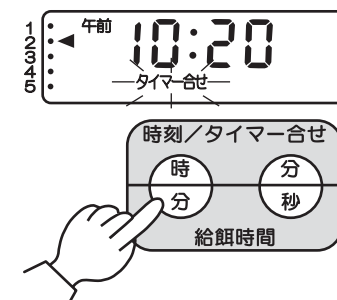
①『時／分』ボタンを午前６時になるまで押す
②『分／秒』ボタンを30分になるまで押す

ボタンを押し続けると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。

**給餌予約１の予約時刻合わせが完了しました。**

【給餌予約２】

**4**『給餌予約』ボタンを押し、「給餌予約回数」表示(◀)を2に合わせる

**5**『時／分』、『分／秒』ボタンを押し、予約時刻を合わせる

①『時／分』ボタンを午前10時になるまで押す
②『分／秒』ボタン20分になるまで押す

ボタンを押し続けると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。

**給餌予約２の予約時間合わせが完了しました。**

※給餌予約３～５回目を予約するときは、**4**、**5**を繰り返し行なってください。

# 使用方法

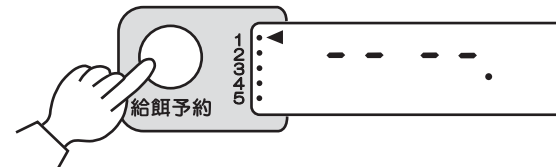
## 給餌(餌排出)時間の合わせかた

【例】給餌予約１‥予約時刻が午前６時30分で、給餌(餌排出)時間を１分30秒に合わせるとき
　　　給餌予約２‥予約時刻が午前10時20分で、給餌(餌排出)時間を２分20秒に合わせるとき

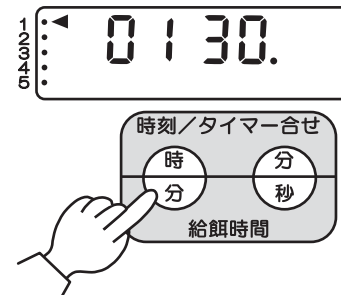
【給餌予約１】

**1**『表示切換』ボタンを押す

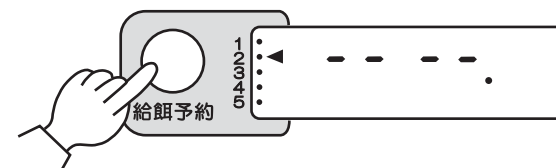
**2**「給餌予約回数」表示(◀)が１であることを確認する

○ １でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、１に合わせてください。

**3**『時／分』、『分／秒』ボタンを押し、給餌(餌排出)時間を合わせる

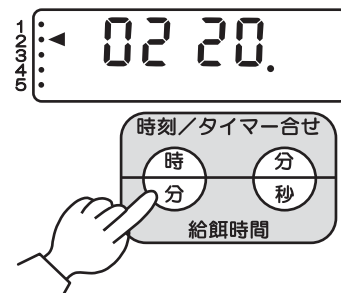
①『時／分』ボタンを１分になるまで押す
②『分／秒』ボタンを30秒になるまで押す

ボタンを押し続けると早送りができます。

給餌予約１の給餌(餌排出)時間合わせが完了しました。

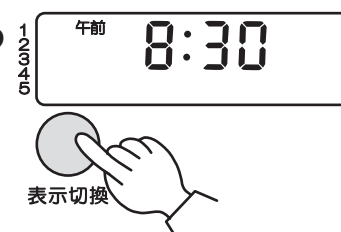
【給餌予約２】

**4**『給餌予約』ボタンを押し、「給餌予約回数」表示(◀)を２に合わせる

**5**『時／分』、『分／秒』ボタンを押し、給餌(餌排出)時間を合わせる

①『時／分』ボタンを２分になるまで押す
②『分／秒』ボタンを20秒になるまで押す

ボタンを押し続けると早送りができます。

給餌予約２の給餌(餌排出)時間合わせが完了しました。

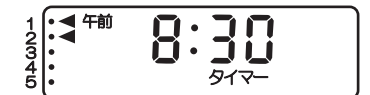
※給餌予約３～５回目を予約するときは、**4**、**5**を繰り返し行なってください。

**6**『表示切換』ボタンを１回押し、「現在時刻」表示にする

## タイマー運転の開始と表示確認

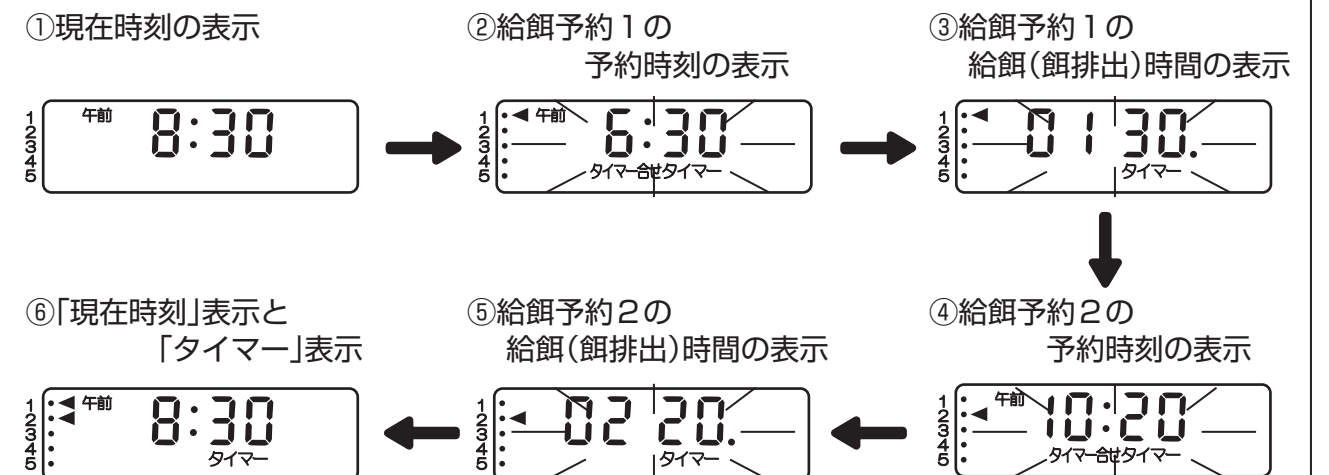
**1** 現在時刻を確認する

○ 現在時刻を合わせていないと、タイマー運転は、行えません。

**2** タイマー運転『入／切』スイッチを押す

○ 手動運転中は、タイマー運転は行えません。

※給餌所要時間が正しいか、再度、確認してください。7ページ 10ページ

《便利な機能》

タイマー運転『入／切』スイッチを押すと、給餌予約の内容が次のように連続的に自動表示され、内容を確認することができます。

注意

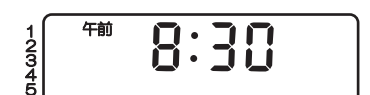
(CR-601のみ：１日の給餌(餌排出)時間の合計が40分以上に設定したとき)

バッテリー上がりの原因になりますので、１日の給餌(餌排出)時間の合計を40分未満になるよう再度、設定してください。

※給餌予約３～５回目を予約したとき、④、⑤が繰り返し表示されます。

## タイマー運転の停止

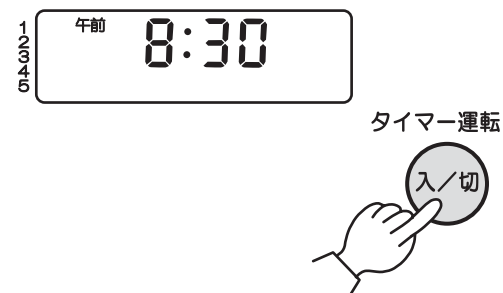
**1** タイマー運転『入／切』スイッチを押す

○「タイマー」表示が消え、「現在時刻」表示だけが表示されます。
タイマー運転の停止は、完了しました。

## 給餌予約の取り消しかた

### 給餌予約の取り消しかた

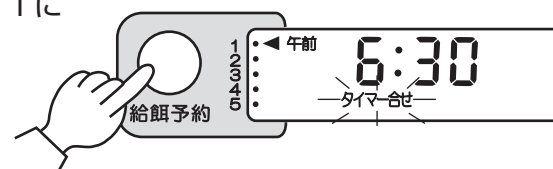
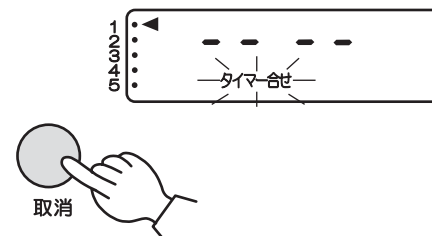
【例】給餌予約１‥午前６時30分の予約時刻で、給餌（餌排出）時間１分30秒を取り消すとき
給餌予約２‥午前10時20分の予約時刻で、給餌（餌排出）時間２分20秒を取り消すとき

【給餌予約１】

**1** タイマー待機中、タイマー運転中のときは、タイマー運転『入／切』スイッチを押し、「現在時刻」表示にする

**2**『表示切換』ボタンを2回押す

○ 給餌予約１の予約時刻と「タイマー合せ」表示が表示されます。

**3**「給餌予約回数」表示（◀）が１であることを確認する

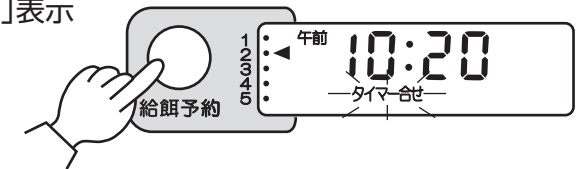
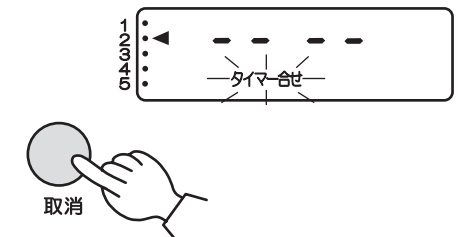
○ １でなければ『給餌予約』ボタンを押し、１に合わせてください。

**4**『取消』ボタンを押す

給餌予約１の取り消しが完了しました。





【給餌予約２】

**5**『給餌予約』ボタンを押し、「給餌予約回数」表示（◀）を2に合わせる

○ 給餌予約２の予約時刻と「タイマー合せ」表示が表示されます。

**6**『取消』ボタンを押す

給餌予約２の取り消しが完了しました。

※給餌予約３～５回目の取り消しを行うときは、**5**、**6**を繰り返し行なってください。

**7**『表示切換』ボタンを2回押し、「現在時刻表示」にする

再度、給餌予約したいときは、改めて給餌予約してください。14ページ

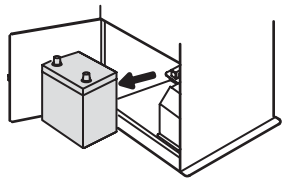
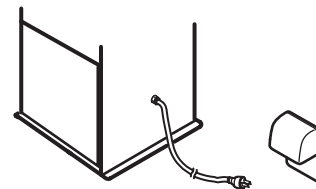
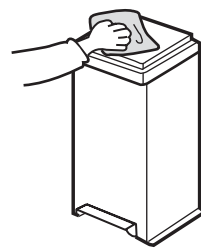
# 点検・手入れのしかた

定期的に次の点検・手入れを行なってください。また、定期的に機器が正常に動作しているか確認してください。

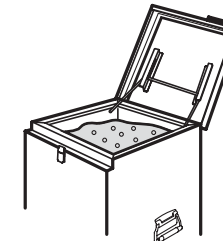
## お守りください

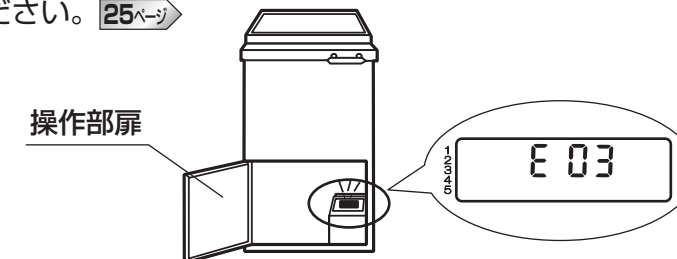
点検・手入れを行うときは、次のことを必ず守ってください。

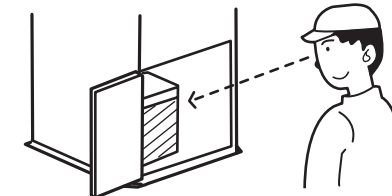
○手入れを行うときは、必ず、手袋をしてください。
けがをするおそれがあります。

○CR-601は、機器からバッテリーを取り外してください。

○CR-611は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・けが・火災の原因になります。

○機器の汚れをふき取るときは、ベンジン・シンナーなどを使用しないでください。
表面に傷が付いたり、変色するおそれがあります。
特に汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
水をかけて洗い流したりしないでください。
機器内に水が入り、故障の原因になります。

## 餌補給・見回りのたびに

### 餌タンクに餌が入っていることを確認する 9ページ

○餌が入っていないときは、餌を補給してください。
餌が入っていないまま使用を続けると、故障の原因になります。

### エラー表示が現れていないか確認する

○操作部扉を開け、表示部にエラー表示が現れているときは、「異常の原因と処置のしかた」に従ってください。25ページ

### バッテリーの状態は“良好”か確認する(CR-601のみ)

○バッテリーに同梱されている説明書をお読みください。

### 機器の手入れをする

○機器をよく絞った布でふいてください。機器を水中、または液中に浸漬したり、水をかけて洗い流したりしないでください。
機器内に水が入り、故障の原因になります。

### ソーラーパネルの手入れをする(CR-601のみ)

○ソーラーパネルのごみやほこりをふき取る。
柔らかい布またはスポンジに水を少し付け、表面を掃除してください。
水の使用は最小限にし、水中または液中に浸漬したり、水をかけて洗い流したりしないでください。
故障の原因になります。
木の葉・鳥の糞などが付着したときは速やかに取り除いてください。

# 点検・手入れのしかた

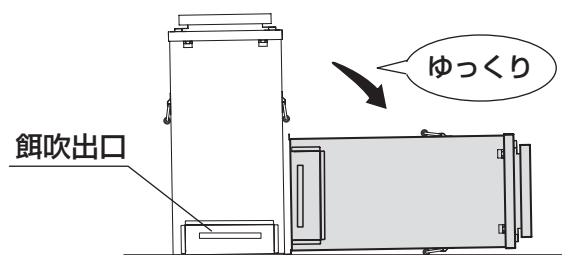
## 6カ月に1回程度

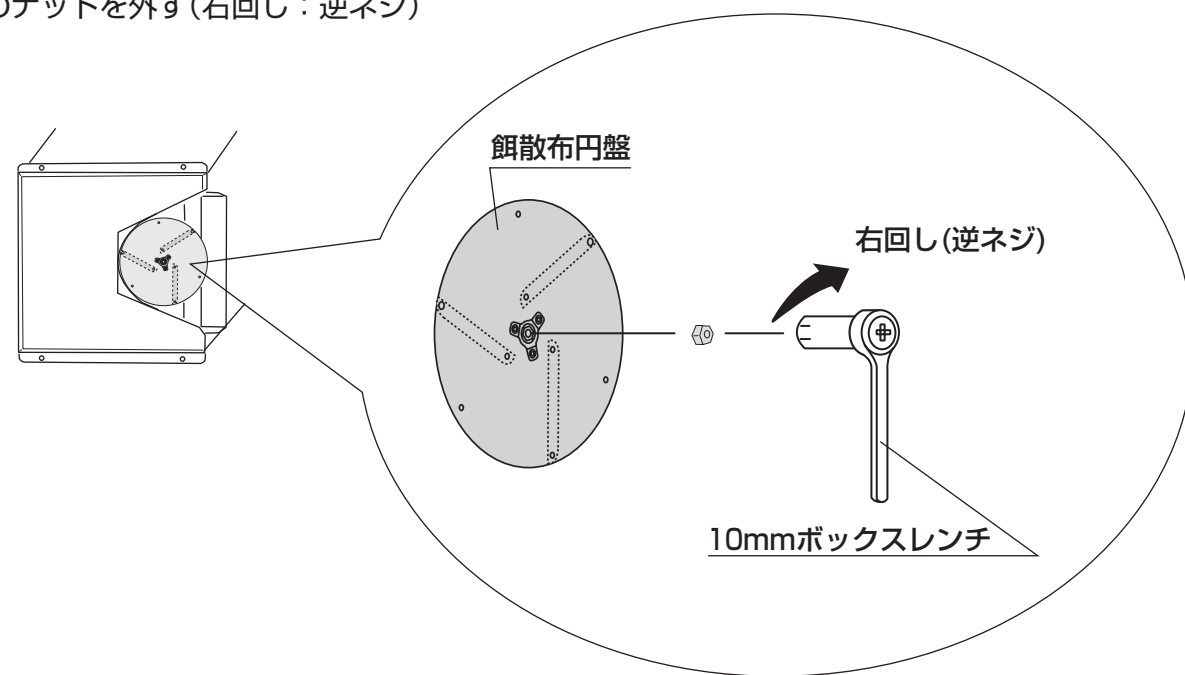
餌タンク内に餌が入っていないことを確認し、操作部扉フック・餌タンクフックを確実に閉めてから手入れを行なってください

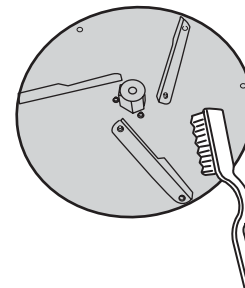
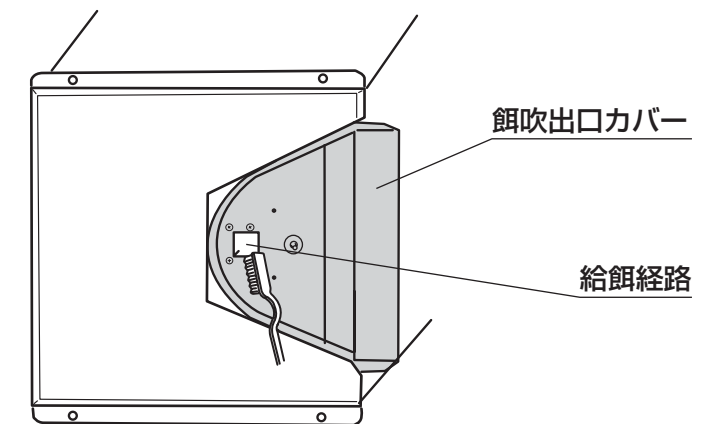
**お守りください**

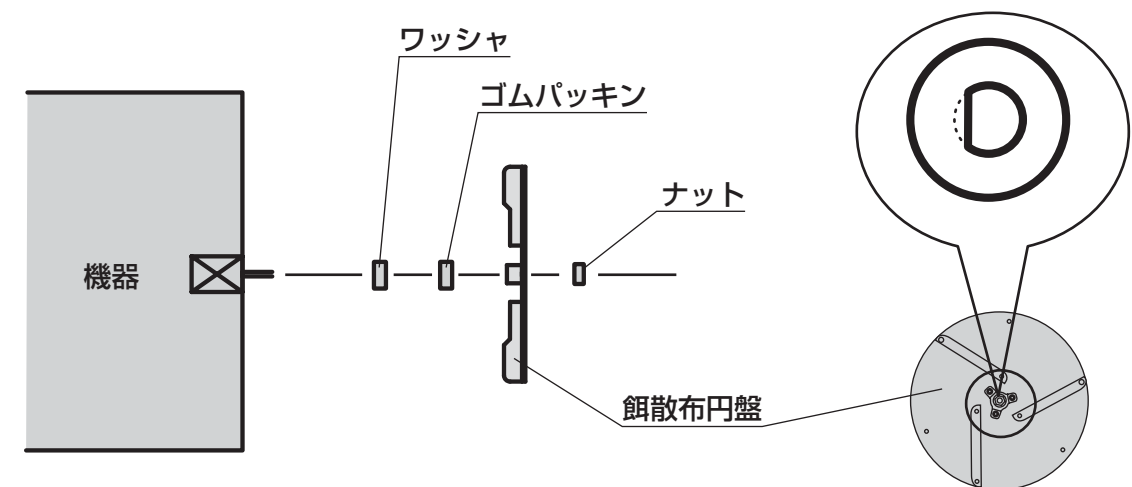
○手入れを行うときは、CR-601は、機器からバッテリーを取り外し、CR-611は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
予想しない事故の原因になります。

### 吹出口周辺の手入れのしかた

**1** 餌吹出口に向かい、機器を右側に倒す

**2** 餌散布円盤を取り外す

①餌散布円盤の裏側にあるナットをスパナでしっかり押えながら、10mmボックスレンチで表側のナットを外す（右回し：逆ネジ）

**3** 餌散布円盤、給餌経路および餌吹出口カバー周辺をブラシなどで掃除する（汚れがひどいときは、お湯をしみ込ませた布でふいてください）

＜餌散布円盤＞

**4** 餌散布円盤を取り付ける

①モータの軸（D型）に合わせ、取り外したときと逆の手順で取り付ける。

②餌散布円盤を手で回し、確実に回ることを確認してください。

**5** 機器を立てる

**お守りください**

○取り外したナット、ワッシャなどは紛失しないよう注意してください。

# 保管のしかた（長期間使用しないとき）

長期間使用しないときは、次の手順に従って機器を保管してください

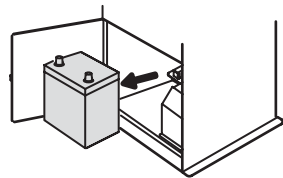
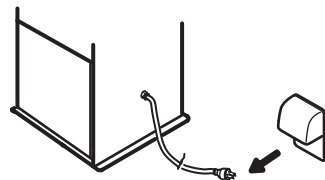
**1** タイマー運転が停止していることを確認し、餌タンクから餌をすべて取り除く

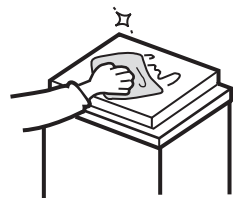
○餌タンクふたを開け、餌をカップなどで取り出してください。
その後、手動運転にて餌をすべて放出してください。12ページ

**2** 電源を抜く

**<CR-601 使用のとき>**

○機器からバッテリーを取り外してください。

**<CR-611 使用のとき>**

○電源プラグをコンセントから抜いてください。

**3**「点検・手入れのしかた」に従い、餌吹出口周辺を掃除する 21ページ

**4** 機器の汚れをきれいにふき取る

**5** 湿気の少ない場所に保管する

**メモ**

○シーズン初めは、バッテリーを充電してから使用してください。

**お守りください**

○バッテリーは、横倒しの状態で保管しないでください。
バッテリー内の液漏れにより、予想しない事故の原因になります。





# 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

## 修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼する前に１度ご確認ください。

| 症　状 | 原　因 | | 処　置　方　法 |
|---|---|---|---|
| 運転を開始しない | CR-601 | バッテリーが接続されていない。 | バッテリーを接続する。 11ページ |
| | CR-611 | 電源プラグがコンセントから抜けている。 | 電源プラグを確実にコンセントに差し込む。 11ページ |
| 表示が消えている | CR-601 | バッテリーの接続が不十分。 | バッテリーに端子を正しくセットする。 11ページ |
| | | バッテリーの＋・－を間違えている。 | |
| | CR-611 | 電源プラグがコンセントから抜けている。 | 電源プラグを確実にコンセントに差し込む。 11ページ |
| タイマー運転を開始しない | タイマー運転がセットされていない。 | | タイマー運転をセットする。 13ページ |
| | バッテリーを外したり、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電があったため、タイマーが解除された。 | | |

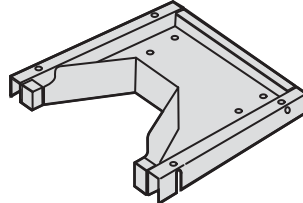
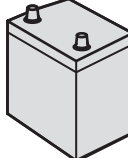
# 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

## 異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のような表示が現れたときは、適切な処置を行なってください

| 表示部 | 原　　因 | 処　置　方　法 |
|---|---|---|
| E 01 | 餌排出羽根がロックしている。 | 餌排出羽根に異物が挟まっていないか確認し、異物を取り除いたあと、『**取消**』**ボタン**を押し、エラーを解除する。※餌の大きさや硬さによっては、餌排出羽根に餌が挟まりロックし、エラーが発生することがあります。 |
|  | 餌が入っていない。または餌が固まっている。 | 餌を補給するか、餌タンク内の固まった餌を取り除き、『**取消**』**ボタン**を押し、エラーを解除する。 9ページ |
| E 02 | <CR-601のみ><br>バッテリーが上がっている。<br><CR-611のみ><br>電源電圧が低い。 | 『**取消**』**ボタン**を押し、エラーを解除する。解除しても再度、エラーが発生するときは、バッテリーを充電するか、新しいものと交換する。または電源電圧に異常がないか確認する。 11ページ |
| E 03 | 餌散布円盤が回っていない。 | 餌散布円盤に異物が挟まっていないか確認し、異物を取り除いたあと、『**取消**』**ボタン**を押し、エラーを解除する。 20ページ 21ページ |
| F 08～F 0E | 修理・点検が必要な故障です。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙 |
| 0000<br><CR-601のみ> | 一日の給餌（餌排出）時間の合計を40分以上に設定した。 | 一日の給餌（餌排出）時間の合計を40分未満になるよう設定を変更する（バッテリーが上がる原因になります）。 13ページ 15ページ |

### 処置を行なっても直らないとき、上記以外の表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。裏表紙
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

**愛情点検**　長年ご使用の給餌機の点検を！

| こんな症状はありませんか | ・電源プラグ・コードが異常に熱くなる。<br>・電源コードに傷が付いている。<br>・電源コードに触れると通電したり、しなかったりする。<br>・運転中に、異常な音や振動がする。<br>・その他の異常や故障がある。 | ▶ | ご使用中止 | 事故防止のためスイッチを切り、CR-601はバッテリーを取り外し、CR-611は電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。 |
|---|---|---|---|---|





# 廃棄のしかた

○廃棄するときは、機器からバッテリーを取り外してください（CR-601のみ）。
○不要なバッテリーを廃棄するときは、バッテリーをお買い求めの販売店にご相談するか、または各自治体のルールに従ってください。

# 部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
その際は、型名・部品名をはっきりとお伝えください。

**別売部品**

本体取付板
13,000円（税抜）

バッテリー
（40B19 相当）
7,000円（税抜）

この部品は本機器用です。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

# 仕様

| 型　名 | CR-601 | CR-611 |
|---|---|---|
| 外形寸法<br>（高さ × 幅 × 奥行） | 844×451×513 mm<br>（突起部、ソーラーパネル含む） | 833×451×511 mm<br>（突起部含む） |
| 質　量 | 約22.1 kg（バッテリー含まず） | 約21.9 kg |
| 餌タンク容量 | 60 L（40 kg） | |
| 定格電圧 | DC 12 V | AC 100 V |
| 定格周波数 | —— | 50/60 Hz |
| 定格消費電力（運転時） | 16 W | 35/35 W |
| 対象餌 | 乾燥粒状餌（粒径1.3～9 mm） | |
| 付属品 | —— | アース棒 |

# 保証とアフターサービス

## 保証について

**●保証書(別添付)**

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

**●保証期間**

**保証期間は、お買い上げの日から本体１年間**です。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本機器の補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

## 修理を依頼するときは

○「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。24ページ 25ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、表示内容などを確認のうえ、必ずCR-601はバッテリーを外し、CR-611は電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

**●保証期間中**

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規程に従って、販売店が修理させていただきます。

**●保証期間が過ぎているとき**

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

**●修理料金**

技術料+部品代(+出張費)などで構成されています。

## ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入など）


**お客様ご相談窓口(通話料無料)**
ＴＥＬ ０１２０-４６８-１１０
ＦＡＸ ０１２０-４６８-２２０


＜受付時間＞
11月～ 1月 9：00～19：00
(土は～17：00、日・祝日・年末年始は休み)
2月～10月 9：00～12：00、13：00～17：00
(土・日・祝日は休み)

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞

「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

※型式の呼び(操作部扉内側に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

## ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①修理やその確認業務を委託する場合
   ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。


ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中 780-6
ホームページ http://www.dainichi-net.co.jp/